

# 活動報告書(2018年02月)

青山学院大学学生フォーミュラプロジェクト

Aoyama Gakuin Racing Club



フレーム溶接の様子

# 目次

- 今月の各班の活動概要

1. シャシー班

- 1.1. サスペンション

- 1.2. フレーム

- 1.3. ペダル

2. パワートレイン班

- 2.1. 駆動系

# 今月の各班の活動概要

## 1. シャシー班

報告者



シャシー班リーダー  
フレーム・サスペンション担当  
三角 悠太郎

現在の大きな目標である4月のシェイクダウンに遅れが生じないように努めています。



図 1.2.1 端面加工の様子

### 1.1 設計進捗状況

フレームの製作が開始し、傍らでアーム等のサスペンション系の細かい部品の製作を開始しました。

### 1.2 フレーム

メンバーの端面加工をはじめとした製作を開始しました。昨年度までは2m程度のH鋼を2本レールの様に敷いたものを治具としてフレームの溶接を行いました。今年度よりフレーム用の簡易治具を製作し、フレーム下部のメンバーをクランプで固定することで、製作誤差を昨年以上軽減します。

現在すべてのメンバーの端面加工が終了し、一部のバルクヘッドの溶接が完了していますが、やや遅れが生じてしまい、曲げパイプを中心とする構造の溶接が未完成の状態となっています。したがって当初の予定であった2月中のフレーム製作の完了の予定が後押しになっていますが、フレームの製作が停滞している間に、3月に行う予定であったサスペンション系の製作を先取りして行い、



図 1.2.2 フレームの簡易治具と設置例

### 1.3 ペダル

ペダルユニット全体の設計が完了しました。ペダル本体やマスターシリンダーは昨年度の流用となりますが、ブレーキランプのスイッチやキルスイッチの整備が容易にできるよう複雑なステーの生やし方を避け、広々としたレイアウトとなるよう部品を配置しました。一方で必要なメンバーの切り出しを行いました。

ペダルの前後位置調節を可能にする穴を

あける加工は3月より行います。

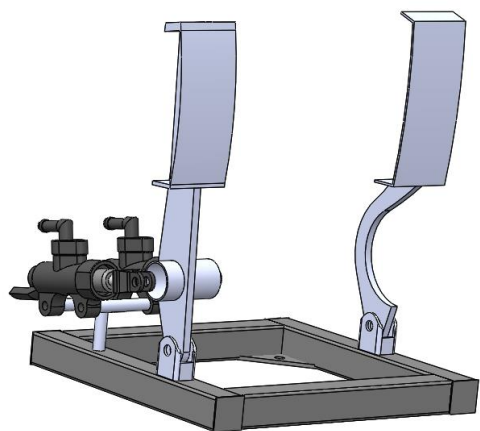


図 1.3.1 ペダルユニット

# 今月の各班の活動概要

## 2. パワートレイン班

報告者



パワートレイン班リーダー  
駆動系担当  
原澤 太一

シャフトを固定し、軸と垂直方向に移動した分だけ LSD マウントを削る、という方針で決定しました。

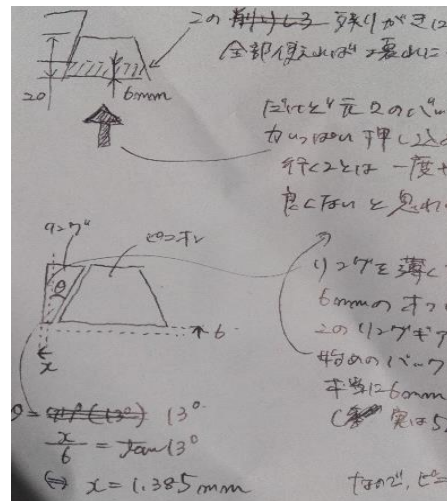


図 2.1.1 ピニオンギア新方針概略図

### 2.1 駆動系

今月から、設計したプロペラシャフトの具体的な製作に取り掛かりました。

大雪の影響により、シャフトの材料が届くまでに時間がかかってしまいました。

また、軸方向の位置調整として4月の走行機会に導入するスリーブ構造ですが、歯車がかさ状になっている為、軸方向のみならず平面的に調整させる必要があるとの指摘を部内で受けました。その指摘を受け、調整機構を取りやめ、予め計算した位置に

その為今月はフランジ部分の完成までとなりました。

今後の予定につきましては、変更した方針を基にプロペラシャフトの残り部分を製作します。

活動報告は以上になります。

ご不明な点などございましたら、以下の連絡先までお問い合わせください。

青山学院大学学生フォーミュラプロジェクト  
チームリーダー・外装担当

山崎 将誠 (理工学部経営システム工学科 2年)

Tel : 080-3205-7207

MAIL : agufformula@gmail.com